

令和5年9月13日

各 位

一般社団法人 全国信用組合中央協会
全国信用協同組合連合会

第1回「しんくみピーターパン大賞」受賞先の決定について

信用組合業界は、この度、業界の新たな表彰制度として「しんくみピーターパン大賞」を創設し、第1回目の受賞先を決定いたしましたので、お知らせします。

「しんくみピーターパン大賞」は、業界独自の社会貢献型クレジットカードである「しんくみピーターパンカード」*を通じた寄付活動（しんくみピーターパンカードチャリティ）の特徴的な取組みを表彰するものです。

今回の表彰においては、全国の信用組合、信用組合協会が取り組んだ「しんくみピーターパンカードチャリティ」のなかから、大賞1先、優秀賞1先の活動が決定いたしました。

※「しんくみピーターパンカード」については別紙をご覧ください。

第1回「しんくみピーターパン大賞」受賞先

○大賞

群馬県信用組合協会	群馬県自閉症協会への寄付活動
-----------	----------------

○優秀賞

東海信用組合協会	愛知県肢体不自由児・者父母の会連合会、 岐阜県肢体不自由児者父母の会連合会への寄付活動
----------	--

信用組合は、営利を目的とせず、相互扶助（共助の精神）のもとに活動する金融機関です。地域経済の活性化や社会・コミュニティの課題解決に向けた取組み、各種の社会貢献活動等、相互扶助を具現化した活動に日々取り組んでおります。

「しんくみピーターパンカードチャリティ」における寄付金は、難病や障害と闘っている子どもたちへの支援活動や、将来を託す子どもたちへの健全な育成活動に役立てられています。

「しんくみピーターパン大賞」を通じて、多くの方々に「しんくみピーターパンカードチャリティ」を業界が取り組む社会貢献活動の一つとして知っていただくことを目的としています。

【本件に関する問い合わせ先】	
一般社団法人 全国信用組合中央協会 ブランドコミュニケーション部 TEL：03-3567-2452 （平日：9：00～17：00）	全国信用協同組合連合会 総合企画部 TEL：03-3562-5115 （平日：9：00～17：00）

【大賞】

群馬県信用組合協会

群馬県自閉症協会への寄付活動

群馬県信用組合協会は、同県高崎市に所在する「群馬県自閉症協会」へ寄付金を贈呈した。

群馬県自閉症協会は、1973年頃に発足した自閉症児を持つ親の会として活動が始まり、その後、1989年に全国組織である日本自閉症協会が法人化されるのと同時に社団法人日本自閉症協会群馬県支部となり活動を続けてきたが、社団法人日本自閉症協会の組織変更に伴い、2008年に群馬県自閉症協会に名称を変更した。

同協会では、自閉スペクトラム症（自閉症）に関する知識の普及・啓発活動等を行うことを目的として、こどもクリニック、大学医学部小児科、メンタルクリニック保健師等の先生を講師として、毎年、県内各地でセミナーを実施（2022年度は6カ所で開催）し、自閉症についての正しい知識の普及と情報交換を行うなど、活動目的・内容がピーターパンカード寄付金贈呈の趣旨の一つである「難病と闘っている子供たちやその家族への支援」に合致していることから、寄付金の贈呈先として選定されたもの。

また、国連が定めた「世界自閉症啓発デー」（4月2日）を含めた期間を「発達障害啓発週間INぐんま」とし、自閉スペクトラム症を理解してもらおう取組みや自閉スペクトラム症の方たちの作品展等のイベントを開催しており、しんくみピーターパンカードの寄付金は、イベント開催に際してのポスターやチラシの作成等の費用に充てられている。

【優秀賞】

東海信用組合協会

愛知県肢体不自由児・者父母の会連合会、
岐阜県肢体不自由児者父母の会連合会への寄付活動

東海信用組合協会は、愛知県肢体不自由児・者父母の会連合会（岡崎市）及び岐阜県肢体不自由児者父母の会連合会（大垣市）へ寄付金を贈呈した。

両連合会は、肢体不自由児者の福祉の増進と自立による社会参加を目的に設立され、肢体不自由児者問題に関する社会的啓発、福祉の強化促進等の活動を行っており、両連合会の活動目的・内容がピーターパンカード寄付金贈呈の趣旨の一つである「難病と闘っている子供たちやその家族への支援」に合致していることから、寄付金の贈呈先として選定されたもの。

寄付金は、在宅で過ごすことの多い、障がいを抱えた子どもとその家族（会員）による交流会（「わいわいカーニバル」）や「クリスマス会」のイベント運営のための費用に充てられており、同じ悩みを持つ地域の父母が集まり情報交換を行うとともに、ふれ合いの輪を広げる場を提供する一助になっているほか、当該寄付活動が団体の会報に掲載されるなど、寄付活動に対する認知を広げることにつながっている。

以 上

< 参考1 > 「しんくみピーターパンカード」について

「しんくみピーターパンカード」は、信用組合業界が株式会社オリエントコーポレーションと提携し、信用組合業界独自の社会貢献型クレジットカードとして、1994年に取扱いを開始して以降、108信用組合で約36万枚を発行しています（2023年3月現在）。

しんくみピーターパンカードの表面にはピーターパンがデザインされており、買い物などのカード利用代金の0.5%相当額*が児童支援関連施設等に寄付される仕組みです（カード利用者の負担はありません）。このカードを使うだけで、多くの子どもたちへの支援につながります。

信用組合業界では、しんくみピーターパンカードを通じた寄付活動を「しんくみピーターパンカードチャリティ」とし、これまで、信用組合業界が選定を行う寄付は、毎年2千万円以上、総額約3億6千万円にのぼり、他業界でも他に類をみない社会貢献活動となっています。

また、当該寄付活動は、2018年に第15回企業フィランソロピー大賞（公益社団法人日本フィランソロピー協会主催）において「地域の未来創生賞」を受賞しています。

【贈呈先の選定】

- ①「難病や障害をもつ子どもとその家族の支援」を活動目的とする団体
- ②「子ども」とその家庭の健全育成」を活動目的とする団体

以上を基に各信用組合・信用組合協会が半期毎に自主的に寄付先を選定。

【寄付金使途】

- ①難病や障害をもつ子どもとその家族の支援
- ②子どもとその家庭の健全育成

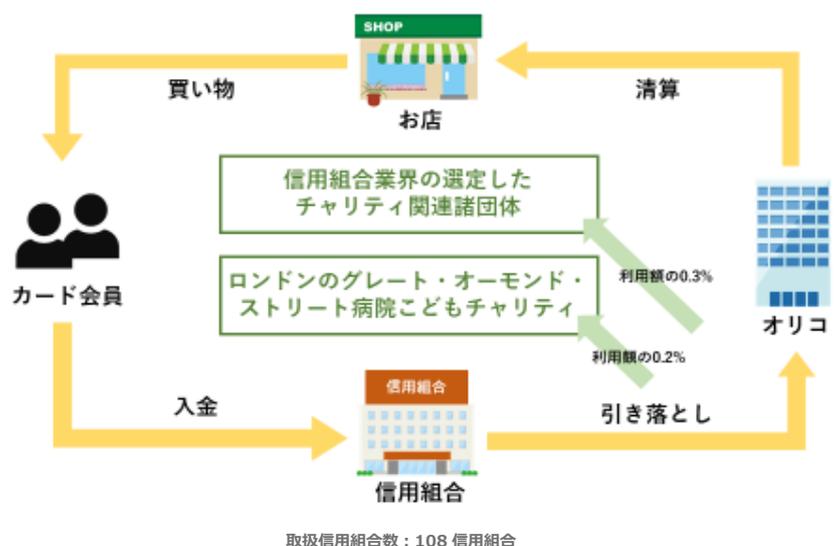
【贈呈方法】

- ①金銭による寄付
- ②物品による寄付

<見本>



<寄付の仕組み>



※利用代金の0.5%相当額（0.3%：信用組合業界が選定、0.2%：ロンドンのグレート・オーモンド・ストリート病院子どもチャリティ）を寄付

< 参考2 > 第1回「しんくみピーターパン大賞」について

1. 目的

信用組合および信用組合協会（地区協会および都道府県協会をいう。以下同じ。）が行う「しんくみピーターパンカード」寄付活動の特徴的な取組みを表彰し、業界内外へ還元することで、寄付活動のさらなる活性化に繋げるとともに、信用組合業界の社会貢献活動（寄付活動）を広く認知させ、ブランドイメージの向上を図る。

2. 表彰対象

- ・「しんくみピーターパンカード」寄付活動を実施している信用組合および信用組合協会
- ・対象期間は、前年（1月～12月）の寄付活動とする。

3. 選考方法

しんくみピーターパン大賞選考会にて厳正に選考のうえ、表彰先候補を選定し、全信中協理事会で表彰先を決定する。

4. 選考のポイント

以下の項目を総合的に判断して行う。なお、活動の内容がすべての項目に該当しなくとも、特定の項目において顕著な取組みが認められる場合、評価の対象とする。

- ①革新性、②コミュニティとの一体性、③話題性、④模範性

5. しんくみピーターパン大賞選考会 委員

見城 美枝子 青森大学 名誉教授

佐藤 雄二郎 株式会社共同通信社 元代表取締役社長

中村 健 株式会社全国信用組合新聞社 顧問

三村 一夫 一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会 常務理事

北村 信 全国信用組合中央協会 理事長、全国信用協同組合連合会 理事長

濱田 秀夫 全国信用協同組合連合会 専務理事

丸藤 保彦 全国信用組合中央協会 常務理事

森貞 隆之 全国信用協同組合連合会 常勤理事

※所属は令和5年9月現在、敬称略、上4名の外部委員は五十音順